

# 鶴岡ロータリークラブ会報

# 847

1976-3-16 No.38

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区  
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや  
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30  
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775  
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 敷

## ◆ 点 鐘

## ◆ ロータリーソング（それこそロータリー）

## ◆ ビジター・ゲスト紹介

## ◆ 会長報告

◆菅原啓君 2月28日付退会——理事会承認

◆歳末たすけ合い募金に対し礼状着信

◆伊藤久美さんの近況着信（後述）

## ◆ 幹事報告

山形RC 3月31日午後6時 丸久松坂屋8Fに変更

## ◆ ゲストスピーチ 山形大学農学部 阿部幸吉先生（後述）

## ◆ 委員会報告 3月24日 RC情報研究会の出欠確認

## ◆ 進藤誠一君転任挨拶

## ◆ 出席報告

## ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

## 日本の食糧事情と農業政策

只今紹介に預かりました私、阿部でございます。会場に來まして余り沢山の方々が、そして日頃御世話になっております方々が、大勢なのんびりしております。

扱って、皆様の前で何をお話したらいいのか戸惑っております。日本食糧問題と日本の農業政策という事で与えられた時間の中でお話し申し上げたいと思います。

その食糧問題と申しますと、もう私が申し上げるまでもなく、世界の食料の危機と叫ばれてローマ会議を初め、各国でも資本主義国家でも社会主義国家でも色々工夫を練っておるといふ事だと思っておりますが、世界の食糧危機の様相と申しますか端的に申し上げますと3つばかり挙げられると思います。

1つは人口の増加でございます。今日私粗末なプリントを持ってききましたが3人に1部位の割でしか渡らないと思えますけれども、その一番最初にプリントは2組になって居りますけれども前となっている方の一番最初の方に人口の問題とか、世界の人口の増加の見通しとか簡単に書いておきましたが、世界の人口は60億になるだろうとか70億になるだろうとか色々21世紀になればそういう膨大な人口を抱え込んで居るその中で、特に後進国の爆発的な人口の増加という事が問題になる訳です。

2番目としましては食生活パターンの変化と申しますか特に日本がそうで御座居ますが、資本主義国家の先進国としては日本が代表的ですが非常に食生活が豊かになりましてパンとか肉食、特に肉を沢山食べる様になりました。これは社会主義国家でもソ連などがそうですが肉食を沢山食べる様になっている。従ってそうなりますと肉の1カロリーを生産するには穀物の7カロリーを大体平均して与えなければならぬ。穀物によっても違いますが、この様な状況の中で早い話、穀物生産が肉を沢山食べることによって7倍の生産をしなければならないと言ふ様な結果となってくる訳です。

自由主義国家では日本そして社会主義国家、地球の人口の半分を分かち、社会主義国家もその様な傾向になって来ている。従って穀物はものすごく不足して来る。それをアメリカがカバーしているという様な状況であり日本とか社会主義国家の食生活のパターンの変化ということが第2番目にあげられると思います。

第3番目はこれは異常気象であります。気象庁の白書では云って居りますが、ソ連でもそうですが農業の生産がどうもうまく行かない、世界全体の農業生産がどうも上らない。特にアメリカなども2、3年前はそうであったが今年は豊作であったと聞いて居ります。その様に地球がだんだん寒冷化して行くのではないかと心配の中で、相当長期の異常気象がやってくるのではないかと、こういう事の中でどうも農業生産が思う様に行かない。幸い日本ではその様な事を真向うから受けていない様に思いますが、世界ではその様な事を非常に警戒しながら食糧生産を行っている状態です。

人口の増加、食生活パターンの変化、異常気象とこの3つが大きく分けて云えるのではないかと思います。そうしますと今迄食糧というものは7年周期と申しまして7年間過剰になったかと思うと、あとの7年間は不足になる。そして又7年間過剰になるという様な統計もあるわけで、7年周期と云って居りますが、今申した様な3つを当てはめて見ますと人口の増加にしてもすぐ止まる訳ではありません。世界の社会主義国家、日本とか食生活が非常に豊かになって肉食に大きく移行したこの食生活のパターンも急に止められるわけではありませぬ。益々これは贅沢と申しますか、改善と申しますか、その様な方向に向かうであります。

異常気象も2、3年で回復するという見通もありません。そうしますと7年周期は相当修正されて長期的に世界の食糧問題は不足する方向に向うのではないかとというのが大方の見方です。

この様な世界の状態の中で日本の食糧状況はどうであろうかと申しますと、皆さんすでに御承知のことと思いますが一応整理して見ますと自給率の低下ということが言われて居りますが表にして見ました。資料の3枚目ですが第12表の左肩の一番下の方ですがこれは金額でお金で計算したその自給率です。段々自給率は下って来居ります。年々変化して来居ります。普通は12表の様な自給率を発表して居ります。総自給率と申しますがこれは大体70%位です。第4図の真中位にかいてある図を見て頂きますと第3図はお金で計った自給率の低下の様子です。

第4図はオリジナルカロリーによって計算された自給率です。オリジナルカロリーと申しま

ずのは早い話餌を（日本はほとんど輸入して居ります）全部カロリー計算しましてそして自給した割合何パーセントかという計算であり、お金ではありません。オリジナルカロリーという最近では40%を割って居ります。お金で計算しますと70%となっておりますがカロリーで行くとS47年で43%最近では40%を割って居ると聞いて居ります。そういう状態で胃袋の半分はカロリーで計算しますと外国産であると言えます。

その様な非常な自給率の低下ということが第1点、そういう事で日本の食糧事情というものが騒がれて来たわけです。

そういう事ですが第2図、これはシカゴの穀物価格ですが日本の自給率の低下、輸入率の増加という事の中で価格は世界の異常気象なり先程申しました世界の食糧危機のなかでどんどん価格は上って、1973年から戻ることがない状況です。その様に日本の自給率の低下はカロリーで行きますと40%を割った6割以上は外国製のものであるという事、第2番目は農業に携さわる方、農家が兼業化に流れてしまって食糧の担当は誰れであろうか。昔はお百姓さんといったが今は農業者とか農家と云います生産者は農家に違いないのですが直接生産を熱心にやってくれるのは誰れであろうかと血眼になって探しているのです。

第4表を見ていただきますと農業専門で生活を立てているというのが全国で15%です。その前は8%です。むしろ水田単作型兼業というのが発生して居ります。沢山機械を入れてそして能力が余ってその労働力が農業以外に発揮する。水田単作型兼業といいますが、その様な兼業が増えて来て居るその為に全国よりも農業のみで生活を立てている人は荘内は少ないです。全国より山形県は少し10%荘内は山形平均より少し現象です。そういう事ですから本当のお百姓さんはどこに居るのかと云う問題が大きな問題として出て来ているのです。

第3としては汚染食品というか、汚染食作物といいますが農業近代化の中で機械化がぐんぐん進んだ化学化が進んで肥料なり農薬なり沢山投下される様になった、そしてお米を沢山とると云う様な農業の技術が進歩して来た、いわばせいさいけんの破壊と云うことに結びついた農業の技術がむしろ支配して来る。その中で汚染された農産物が出てくる、これでは困る、この様な問題が食糧問題として出て来ている。

それを自給率の低下本当のお百姓さんはどういう人なのか、そして機械化、化学化、単作化と続くのが、近代化農業というのですがこれを政府は高度成長時代の中で一貫して指導して来るのですが、その結果汚染等決していいものが出て来なかった。機械化・化学化等されたこれが近代化の一連の政策であったのですがこれが反省されて行くという段階になって居ります。さてその様な食糧事情、世界の食糧危機、日本の食糧問題、その中で何んといっても6割が外国のもので、国産のものは4割しか入ってない胃袋の問題は非常に淋しい感じがします。しかも日本の農政の見直しといえば食糧生産と関連して言えばその自給率の向上という事をまず第1に挙げているのです。

自給率の向上というとその上昇率は現在お金で計算している総合自給率は第12表ですが70%程度でオリジナルカロリーですと40%前後です。これを45%お金で換算して75%位にしようという事です。現状からいってあと10年経過しても一生懸命農林省が首頭をとっても僅か5%程度しか上らないという事です。政策の自給率向上の目標を達成する材料は何んにも見当たらないと云うことです。

目標と云うのは例えばお金に換算して80%位がいいのではないかと、あとの20%は外国から輸入してもいいのではないかと云う説もありますが出来れば85%~90%欲しい処です。オリジナルカロリーでいいますと第13表にある様にイギリスでは60%行っているのです。日本は40%です。イギリス位にしようとするならば相当の努力が必要である。能力の計算ではどうしてイギリス並には行かない。これが自給率の問題で見直し農政といわれた結末ですが結局はどこをいって見てもイギリス並には行かない状況です。（オリジナルカロリーで）

関連して第19表の資料を見て下さい。最後の数字を見て見ますとオリジナルカロリーを輸入する分を日本で全部生産するとの位の面積であるかといえれば820町歩現在600町歩ですから倍以上の耕地がないと今の様な食生活を日本で送ることは出来ない。57年の見通しでは1000万ヘクタールあと土地がなければ輸入なしで出来ない。従って自給率を高めることは仲々出来ないし容易ではありません。

もう1つの見直し農政は安全な食糧の供給であります。近代化農業の中で農産物が本物のおそろしい汚染とか公害のない純粋な農作物を作らなければならない。見せかけだけの農産物ではないということが見直し農政の一つの柱であります。食糧の安全性を強く強調しているのであります。この点はまだまだこれからという感じであります。これは新しい農業の技術なり研究を総動員してもやって行かねばならないものですが、農業を規制されている中でこれをかわすことからもう一度規制対象の中に位置づける中で食糧の本物の食糧の生産に励んで行く

という見直し論であります。

その様な食糧の安全で安定した供給を誰れにお願いするか、見直し農政には誰れが勿論農家ですがどこを見ても兼業農家はかりで本当に頼もしい農家の方はどこに行ったのだろうかと云う見直し論であります。今更ということをごとうしてもおかしな話になりますが、技術経営という基本法で(36年に農業基本法が制定)日本農業の憲法の様なものですが農業近代化政策が歩み出したのです。

さて基本法の制度の中で誰れにという事を技術経営という名で打出された訳ですが奥さんと旦那さんと2人で働いてそして都市の労働者と同じ様な収入をあげうる様なその様な経済の含みを持っている様な仕組の状態、つまり2人で働いて都市のサラリーマン1人で働いて得ると同じ様な経済力を持っている1人と1人なら分るが、農家の人は2人働いて都市の1人と同じというのは変に思われるかもしれませんが、それを技術経営といっているのです。現在の数字をあてはめて申しますと大体300万、それ以上ならなおいいのですが農業のみで挙げる2人働いて、この技術経営を基本法の中で早い話が失敗したのです。農政は失敗したのです。そして中核農家という題名を打出した、中核農家というのは男の人だけが働いている農業のことで、その人を頼りにして行こうというもので約3割を占めている。男の人の働いているのが3割であとは女の人が働いているのです。この3割の男の人でどの位の農産物を生産するかというところ6割位生産します。これを大事にして行こうというものです。ところが中味をわけて見ると3割の農家は40台以下の農家はその位です。全農家の10%です。その10%の人で生産は約30%挙げています。するとあとは50才、60才の方が働いている訳です。誰れかということをもう一言申しますと、その様な状態で技術経営が失敗しそして中核農家というのもどうも当てにならないという事です。

アメリカで約10%の農家で50%以上の食糧を生産する場合初めて政策的には技術経営の様な政策がとれるのですが日本の場合胃袋の中の半分は外国、あとの半分の自給物の約25%全体の1/3が農家らしい農家の生産なのです。あとの残りは兼業です。多い順に云いますと外国の物が一番胃の中に多く次に兼業農家のもの、そして農家らしいものの生産物は1/3にすぎないということで、技術経営を大切にす政策は見直し論の中にどうも出て来ない状態です。むしろ外国農業を大事にしてそして兼業農家をなんとか運動させて行くという政策が当分続いて行かないと食糧問題解決は技術農業とか中核農家の40才以下のみを大切にすることだけでは食糧問題の解決にはならないという処に見直し論の更にむずかしい処があると思います。

まだお話が足りない点がありますが時間がすからこれで終ります。

## 伊藤久美さんの便り

拜啓今日から3月、草木の芽も少しづつ出始め、春の気配が少しずつ感じられるようになりました。御機嫌いかがですか。

私は、昨日から新しいホストファミリーともすっかりとけこんで楽しく生活しています。このホストファミリーは、高校の体育教師の家で奥さんと3人の息子との5人家族です。上の2人の息子さんは大学に行っているんで休み以外は帰って来ないのですが、女の子のいない家なので何かと気をつけてくれます。もちろんそれに甘えずいろいろ手伝いをしたりしていますが……とても楽しい毎日です。

先日、コネカット州全部のロータリーの留学生の夕食会がニューヘーバンで行なわれました。もちろん出席して、いろいろな国の人々に会う事ができました。いろいろな国から来た人々がひとつの言葉、つまり英語で互いにわかり合えるなんて、なんてすばらしいんでしょう。本当に感激しました。留学生になって本当にいろんなことを学ぶ事ができました。本当にこの opportunity に感謝しなくてはならないと思っています。では近況報告まで。

## 出席報告

|     |                          |        |       |                                                     |
|-----|--------------------------|--------|-------|-----------------------------------------------------|
| 本出  | 会 員 数                    | 72名    | 欠 席 者 | 阿部(公)君、黒谷君、齋藤(信)君、半田君、小花君、佐藤(伊)君                    |
| 日 出 | 出 席 数                    | 51名    | 席 者   | 五十嵐(伊)君、今野君、佐藤(衛)君、板垣(俊)君、三井(徹)君、                   |
| の 席 | 出 席 率                    | 70.83% |       | 笹原君、海東君、三井(健)君、高橋(正)君、玉城君、三井(賢)君、横山君、上林君、中野(清)君、津田君 |
| 前出  | 前回出席率                    | 76.39% | メ     | 阿部君一氣仙沼RC                                           |
| 回   | 修正出席数                    | 64名    | 1     | 手塚君、菅君、鷺田(幸)君、佐藤(衛)君                                |
| の 席 | 確定出席率                    | 88.89% | ッ     | 齋藤(信)君、五十嵐(三)君、小花君、角田君一鶴岡RC                         |
|     |                          |        | ク     |                                                     |
| ビ   | 今野金一君、阿部隆君一温海RC          |        |       | 滝禅源君一立川RC                                           |
| ジ   | 上野十九治君、小林忠康君、菅沢久弥君一鶴岡西RC |        |       |                                                     |
| タ   |                          |        |       |                                                     |